

# G空間情報を高度利活用

## 4実証プロジェクト提示

総務省の推進会議

総務省は、G空間情報(地理空間情報)とICT(情報通信技術)を一層連携させ、G空間情報を高度に利活用できる社会の実現を目指して実施する実証プロジェクトを明らかにした。官民が持つさまざまなG空間情報を円滑に利活用できるオープンプラットフォームの構築や、G空間情報と防災情報などを融合させた先進地域での防災システムなど4つの実証プロジェクトで、2014年度から着手する予定だ。

実証プロジェクトは、総務省が21日に開いた「G空間×ICT推進会議」(座長・柴崎亮介東大空間情報学研究所センター教授)で示された。会議は、日本経済の再生や震災復興・防災、地域活性化の課題解決に向け、新産業・新サービスの創出と防災・地域活性化の2つを狙いに実証プロジェクトを検討している。新産業・新サービスでは、G空間情報のオープンデータ化や、準天頂衛星による高精度

実証プロジェクトの国内外での実施——の実証を打ち出した。実証が実用化されれば、適切な道路改善計画や、道路・橋梁・ダム・水道などの社会インフラや防災の情報をG空間上で管理し、「フル・レンジリアレントな安心安全社会」が実現できるとしている。

▽G空間情報のオープンデータ化▽高精度測位と3D地図、ICTを活用するモデル図、ICTを活用するモデルプロジェクトの国内外での実

同整備など全国区普及に向けた官民連携▽G空間と防災の情報と掛け合わせた防災システム——の実証を行う。例えば、都市計画や建物などの都市情報と、災害リスクや避難施設など防災情報を組み合わせた事前復興データベースをG空間で一元管理する災害に強いまちづくりプロジェクトを実証して、15年度をめどに

- 【建設ICT】
- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 朝日    | 6. 中伊    |
| 7. 産経    | 8. 静岡    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部   | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海  |
| 16. 建設工業 |          |          |

平成25年5月23日(朝)・夕) P2-1

